



INTERIOR PLANNER'S REPORT

vol.29

2023 MAY

はじめに



佐藤 勉

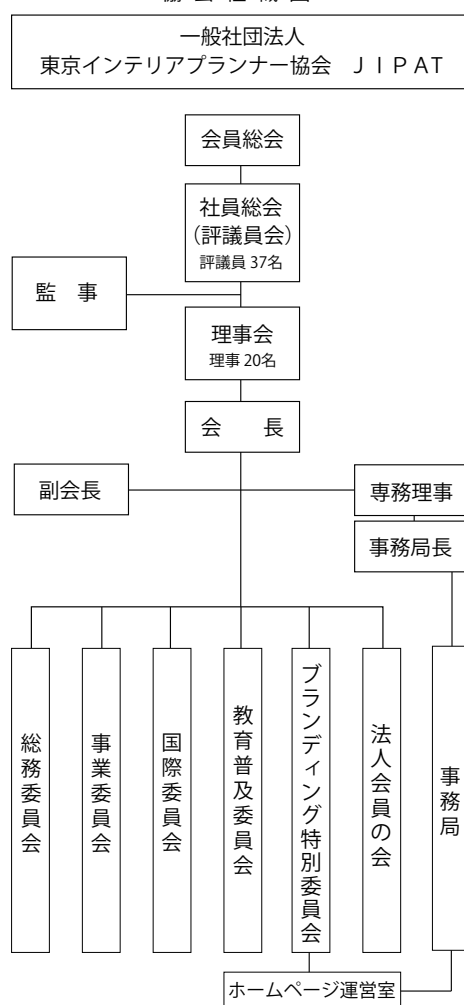
一般社団法人 東京インテリアプランナー協会会長

Contents

目次

はじめに	2
活動報告	3-4
コラム	5-7
各種手続き・会員特典	8

協会組織図



一般社団法人 東京インテリアプランナー協会

〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-25-19

東京デザインセンター 5F

TEL:03-3446-8860 FAX:03-3446-1417

E-Mail:office@jipat.gr.jp http://www.jipat.gr.jp

長く続いたコロナ禍も収束に向かい始めたようです。この3年間を大変な苦労の中で過ごされた会員の皆様も安堵されていることでしょう。コロナ禍で激変したライフスタイルやワークスタイルに対して、インテリアプランニングが果たすべき役割はたくさんあります。日々の生活を心地よく安全に果たせること、ささやかな日常の中にも喜びや楽しみを見いだせること、社会においてあらゆる方々が誇りと生きがいをもたせること。インテリアプランナーの役割は機能的で美しい内部空間の創出を超えて、そこに生きる人々の豊かな暮らしに向けて積極的に働きかけることが、これまで以上に求められる時代となりました。

1987年創設のインテリアプランナー（以下IP）は、インテリアの計画に関わる幅広い知識と技能をもち、インテリアをトータルに設計・監理できるプロフェッショナルを証明する資格です。2001年に国土交通省の認定資格から（公財）建築技術教育普及センターの認定資格となり、2016年にはアソシエイト・インテリアプランナー（AIP）の称号が新設されました。2022年度は全国で146名のIP試験合格者が生まれました。IP資格者は5年ごとに義務付けられる更新講習でインテリアの新技術や法令などの最新動向を身に付けています。

当協会はIP資格者である正会員を中心に、AIP会員、一般会員、学生会員、法人会員等で構成されます。総務・事業・国際・教育普及の4つの常設委員会（隔月開催）、ブランディング特別委員会（毎月開催）、法人会員の会の活動を中心に、多彩な事業の企画・運営に力を注いできました。

2022年度の協会活動は対面・遠隔ともに充実した一年でした。総務委員会によるインタビューYouTube動画シリーズの公開、事業委員会のウェスティンホテル横浜見学会や、国際委員会のデンマークからデザイナー Lars Vejen 氏を迎えた初のハイブリッドセミナー、法人会員の会主催の交流会や懇親会など、多数の参加者を得て対面で開催されました。教育普及委員会のIP受験セミナーは規模を例年より拡大して対面で実施され、多くの受講者を合格に導きました。また昨年5月の通常総会と講演会・交流会、1月の日本青年館ホテルにおける3年ぶりの新年交流会は対面で開催し、会員相互の交流を深めました。

一般社団法人日本インテリアプランナー協会（JIPA）の活動支援では、隔月開催の委員会と理事会における活動やIPアワード2022の実施、11月の下関市で開催された4年ぶりの全国大会に参加し、地域協会との交流をはかりました。IDM（インテリアデザインミーティング）の活動では、大盛況となった3月のJAPAN SHOP 2023（東京ビッグサイト）では他協会と協力し、IDMブース企画と運営、IDMアワードやセミナー、懇親会「The Night」を企画・実施しました。

インテリアプランニングという共通の関心のもと、多彩な知識と経験を有する人々が集い、活きた情報を分かち合う場と機会を提供することが、当協会の社会的使命です。特に新入会員をはじめとする若い会員の方々に積極的に協会活動に参加・活躍してもらえるように働きかけていきます。協会に対する会員の皆様の御理解と御協力、ならびに積極的に前向きな提言を引き続き求めています。

[さとう つとむ・駒沢女子大学人間総合学群住空間デザイン学類長]

第28回 通常総会＋記念講演会＋交流会

日 時：2022年5月27日（金）18:00～21:30
場 所：フクラシア八重洲
記念講演：「時がつくるデザイン」加藤 匡毅（かとう まさき）建築家/Puddle 代表
参加者：82名

第28回通常総会は、3年ぶりに対面方式にて開催。コロナ前のような賑わいで「やはり、リアルはいいね！」と多くの出席者の笑顔が見られ、実際に会って話が出来るありがたさを感じる会になりました。交流会は、コロナ対策として、食事をすべてポーションタイプにて提供。参加者全員の協力のもと、盛況のうちに閉幕しました。



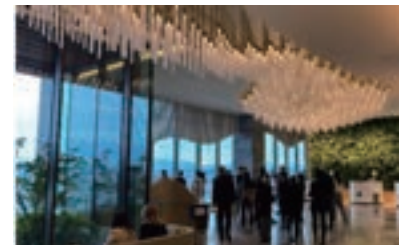
JIPAT『旬』見学会 ウェスティンホテル横浜

テーマ：新規オープンした外資系ラグジュアリーホテルを体感する

日 時：2022年10月25日（火）14:30～17:00
場 所：ウェスティンホテル横浜
講 師：ウェスティンホテル横浜 総支配人 リチャード・スーター氏
株式会社 日本設計 第2建築設計群 副群長 チーフアーキテクト 近藤 崇 氏
インテリア設計部 第2グループ長 佐野 成一 氏
インテリア設計部 第2グループ主任技師 田胡 智子 氏

参加者：70名

2022年6月、横浜みなとみらいに開業したウェスティンホテル横浜の見学会。見学会後の講演会は、4階ボールルームにて、総支配人スーター氏から、横浜開業への思いとホテル理念について、日本設計様からは、建築概要、建物コンセプト、及びローカルアーキテクトとしてのプロジェクト対応について、それぞれで説明いただきました。感染症対策に配慮しつつ、充実したリアルイベントとなりました。



JIPAT『交』2023年 新年交流会

テーマ：3年ぶりとなるリアル開催で交流を深める

日 時：2023年1月27日（金）18:30～20:30
場 所：日本青年館ホテル 9階 宴会場
参加者：84名

世界的な感染症の流行により、2021年、2022年とリアルな開催を見送ってきましたが、今年は感染症対策を行ったうえで、立食形式の新年会を実施いたしました。プログラムとしては、開会の辞に始まり、役員紹介、新会員の紹介、歓談を挟んで、委員会の活動報告の後『運試しおみくじせんべい』の配布という、盛り上がりすぎない企画でコロナ禍に配慮した内容いたしました。3年ぶりのリアル開催により、会員相互の交流を深めるよい機会となりました。



法人会員の会 全体報告会

日 時：2022年6月16日（木）18:30～21:30
場 所：AP 西新宿 会議室
参加者：（全体報告会） 正会員13名、特別会員4名、ビジター2名、法人会員52名、合計71名
（懇親会） 正会員12名、特別会員4名、法人会員51名、合計67名

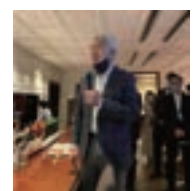
法人会員にとっての実質の総会。恒例の『全体会議』を久しぶりに対面方式で開催しました。一年間の法人会員の会の活動や協会の活動計画、各委員会の活動内容などの報告が聞ける全体報告会は有意義であり、重要な年間事業の一つであることを再認識しました。



法人会員の会 Oktoberfest in AKASAKA（秋の宴）

日 時：2022年10月26日（水）18:00～20:30
場 所：il Cardinale Akasaka
参加者：73名（正会員：19名、AIP・一般会員・特別会員：5名、法人会員：38名、ビジター：11名）

3年ぶりの法人会員の会コミュニケーションイベント。秋の深まりを感じつつ、赤坂 Biz タワー内のイタリアンレストランにて盛大に開催しました。参加者全員が、リアルに集まったことを素直に喜ぶ会となりました。



サロン・ド・IP

<オンライン開催>

- テーマ：第5回 イタリア・照明の歴史とトレンド
- ドイツ・家具メーカーをご存知ですか？ -
日時：2022年7月29日(金) 18:00~19:30
参加者：47名
スピーカー：株式会社土井 / AKARIYA 三上 和彦氏
フレイス インテリアディビジョン 高久 健一氏
ファシリテーター：株式会社イリア 沖野 俊則氏
- テーマ：第6回 テキスタイルの進化
- ウィリアムモリスからアクアクリーンまで -
日時：2022年11月17日(木) 18:00~19:30
参加者：51名
スピーカー：マナトレーディング株式会社 山上 紘子氏
bp international tokyo 株式会社 林田 典子氏
ファシリテーター：エルクリエーション株式会社 高田 真由美氏
- テーマ：第7回 イタリア家具の伝統と革新
日時：2023年3月30日(木) 18:00~19:30
参加者：56名
スピーカー：株式会社カッシーナ・イクスシー 飯田 光弘氏
株式会社トミタ 富田 州正氏
ファシリテーター：株式会社イリア 沖野 俊則氏

<リアル開催>

- テーマ：日本に魅了されたデンマーク人デザイナー
-Lars Vejen のものづくり -
日時：2023年3月10日(金) 18:00~19:30
(交流会 19:45~20:30)
場所：東京デザインセンター 5F クラフトテックギャラリー
※Zoomウェビナー同時配信によるハイブリッド開催
参加者：リアル参加 62名・オンライン参加 24名 合計 86名
後援：デンマーク大使館
協力：Educational Visits Denmark・Kvadrat Japan・BoConcept
会場提供：株式会社東京デザインセンター



コラム サロン・ド・IPを終えて

今年は、全3回のオンラインセミナーに加え、リアルイベントを開催することができ、私たち国際委員会にとってとても大きな成果でした。

オンラインセミナーについては、Peatixでの集客が軌道に乗り始め、安定的に集客できる様になりました。また、リアルイベントについては、実に4年ぶりの開催でした。また初めての試みとして、①海外から建築家を招待し、同時通訳を用意。②会場を用意すると同時に、ZOOMでのオンライン配信。

③ゲストの招待にあたり、デンマーク大使館とのやりとりや後援の依頼交渉。などに挑戦しました。準備から当日まで、たくさんの困難がありましたが、開催当日は、デンマーク大使館の方々をはじめ、協力業者様、たくさんのビジター様にもお越しいただき、会場は熱気に包まれ、盛況の内に会を終えることができました。今回の反省と経験を活かして、今後より良いイベントを作りたいと思っています。

国際委員会委員長： 小早川 梓 (こばやかわ あずさ)

インテリアプランナー試験受験対策セミナー

- 日時：参考施設見学会① 8月7日 参加者 14名
参考施設見学会② 8月28日 参加者 11名
①ANA インターコンチネンタル東京 日本料理「雲海」
②The Okura Tokyo 日本料理「山里」
パス特別コース 9月11日・9月25日 参加者 30名
設計製図講座 10月1日・10月15日 参加者 37名
直前講座 10月22日 参加者 37名
合同補習 11月5日 参加者 35名

場所：東京都立産業貿易センター浜松町館 4階会議室
受講者：総数 44名

日時：フォローアップミーティング 2023年3月25日 参加者 14名
場所：リリカラ(株) 3階会議室、ショールーム

2022年度試験設計課題 『日本料理店のインテリア』

講師：井上 順一郎氏・太田 憲次氏・本杉 勝彦氏・加藤 陽介氏・石津 幸子氏・新田 法子氏・鈴木 二葉氏・辛 智子氏・井上 美保氏・高島 幸一氏・下田 済二郎氏・西尾 敏靖氏
スタッフ：屋部 幸泰氏・垂水 茂喜氏・山川 淳子氏・小田島 泰子氏・雪嶋 盛文氏



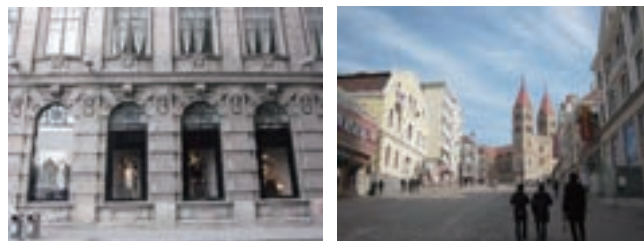
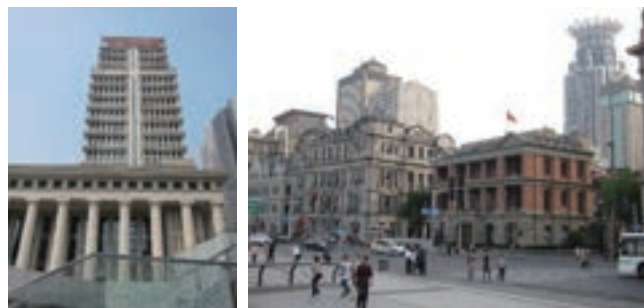
■コラム 私の中国インテリア奮闘記

井上 順一郎 一般社団法人東京インテリアプランナー協会 副会長

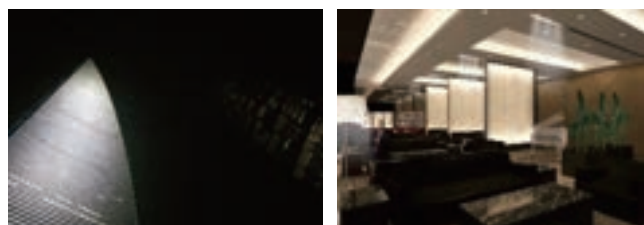
私は昨年 2022 年でインテリアの仕事をしてから丁度 50 年の節目を迎えて一つの仕事にこれだけ長く関るとは私自身思っても見ませんでした。それだけ変化に富んだ設計に携わることが出来たのは大変な幸せだったと思います。

1988-1991 年の 3 年間は目黒雅叙園の建替え工事に関わり昭和の文化を現代に蘇らせることを学び、漆や螺鈿や木彫、組子障子が毎夜夢に出てくる日々を過ごしました。モダンデザインとは対極にあるキッチュな「昭和竜宮城」のアイテムを婚礼宴会場に再生させるデザインの手法と和風の基本を習得しました。この経験を経たことで 1998-2005 年は「京都迎賓館」という生涯関わることのない国家プロジェクトのスタッフ一員として 7 年間京都で没頭しました。著名な人間国宝の師匠や有識者の先生、有名建築家に指導を仰ぎながら、設計者・庭師職人・宮大工・伝統工芸職人等が一丸となって後世に残す名建築として 2005 年 4 月に完成しました。インテリアの仕事としては内装仕上げ材としての手織絨毯や絹織物の意匠デザイン、制作に 2 年間も要する調度備品の設計に関わり重要無形文化財保持者のご指導と多種多様な伝統工芸職人と協働させて戴いたことで日本文化の簡素で洗練された美を学ぶことが出来ました。竣工後は迎賓館口スに陥ってしまい新しい設計に打ち込むことが出来なくなっていた時期に、中国金融関連のプロジェクトに関わることになりました。その時は何で日本建築の美を学んだのに異文化中国の仕事をするのは無理だと還暦を前にして退社を考えましたが、日本には無い文化と向き合うのも挑戦と思い直して 2007 年から中国に舞台を移しての奮闘記をお伝えしたいと思います。

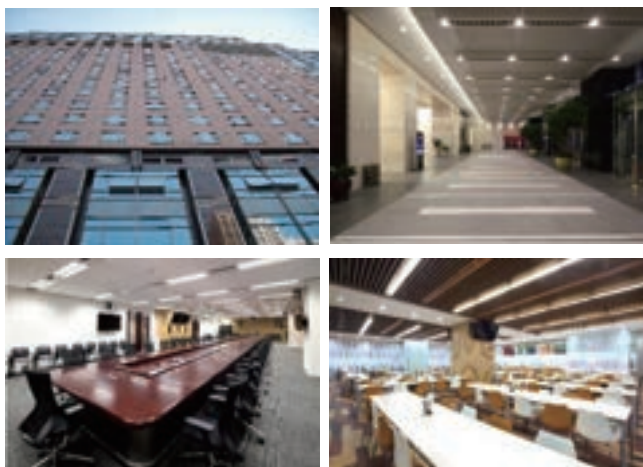
ここで中国での仕事を通して判ったことですが、中国は欧州とシルクロードで陸続きであることからヨーロッパ文化にあこがれを抱いていて欧州建築を模したものがベースになっていることです。家具に関しても中国人は日本人より大柄な体格ですので一回り大きなサイズを選んでます。照明器具も豪華なシャンデリアを好んで使い設備プレートやドアハンドルも欧州からの直輸入品やそれを模した中国製品を見境なく使うようなインテリアでした。



最初のスタートは 2010 年 5 月上海万国博覧会「上海メディアセンター」のインテリア設計監理でした。2008 年に上海環球金融中心 /SWFC 上海森ビル超高層 101 階 492m が完成して、2009 年 5 月にその 29 階 (2,000 m²) に入居しました。上海メディアグループ /SMG がオーナーで森ビルが日本企業と言うことで、インテリア設計も日本人の条件で日建設計が受託し内装を NSD が担当しました。中国の責任者が日本に住んで日本ガイドブックを中国版で編集していることから日本に造詣が深く過大なデザインを抑えたインターナショナルなデザインを要望していたこともあり、迎賓館で培ったジャパンセンスを発揮することが出来ました。中国と日本の文化の融合が出来ましたが、コストや運営面に関しては全て中国担当者に委ねられて思うように主旨が伝えられず心残りな仕事になりました。中国では当時もヘビースモーカーが大変多く、喫煙ルーム (シガールーム) に関しては豪華なインテリアを要求されました。



二つ目の仕事は大手金融グループの北京本社でした。10年程前に外観が完成していた53,000㎡・地上23階建て一棟を購入、内部は全てスケルトン状態での内装設計でした。オフィス階を除いて1階エントランス・基準階のパブリックゾーン・会議階・役員階の内装を担当しました。2009年12月からスタートしましたが、殆ど三泊四日で月1~2回の割合で北京-東京の往復でした。中国では直接企業のトップ・董事長と打合せをするので仕事は大変ですが決まるのも早く無駄なくスピーディです。打合せした日の晩はホテルに缶詰めになってスタッフ全員が一部屋に集まってプラン修正のスケッチを何案も作成し、帰国する当日に承認を受けるような過酷な設計作業が続きました。CG作業に必要なカラースキームの準備を行い、中国で入手可能な材料選定を行いカラースキームボード数十枚作成し、厳重な梱包をして、殆どのプレゼンは搭乗者手荷物扱いで材料と一緒に移動しました。2011年5月完成でしたので、3月11日に東日本大震災が起こり福島原子炉大爆発を起こした大災害中でも、何とか準備を整え出張しました。北京に到着すると担当者は日本が壊滅したと想像していたらしく中国に来たこと自体が信じられないと驚愕しておりました。プレゼン終了後に担当役員から、東京中が放射能で汚染され日本は沈没したと想像していたと言われました。中国からすれば日本は小さな島国なのでそう思われても当然だと思いました。2011年5月に竣工しほぼ提案した内装になりましたが、家具調度品に対しては発注者側でイメージに近い家具を購入して赤や金や黒の中国嗜好の調度品で埋め尽くされました。何度もショールームに通って椅子卓子の選定をしたのですが、役員好みと合わなかったようで役員室は統一性のないインテリアになり、改めて文化の違いに気付かされて辛い思いをしました。



この2010年頃から中国から設計依頼が多くなり始めて出張の合間に別件の打合せをすることが多くなりました。三つ目の仕事は2011年の北京本社完成後直ぐに河北省の不動産デベロッパーから上海オフィスのインテリア設計のオファーを戴き、北京から上海経由で帰国することでスタートしました。SWFC29階上海メディアセンターを見学してデザインを気に入ったことで連絡を戴きました。この董事長オフィスはSWFCの71階(1,000㎡)に入居、長江と上海市内が見渡せる眺望の良いオフィスでの内装設計でした。

このオーナーは事業に成功して富裕層として殆どの時間上海に住んでいることで、設計を進める途中で磯崎新監修の敷地内に川の流れる高級住宅を見学しましたが、富裕層の格の違いに圧倒されてしまいました。イタリアモダンのセンスで中国の文化が融合した素晴らしい住宅でした。董事長のご意向に添ったデザインが出来るのか身の引き締まる思いでしたが、2012年4月にホワイトな空間にブルーのガラスを浮遊させて無事完成することが出来ました。

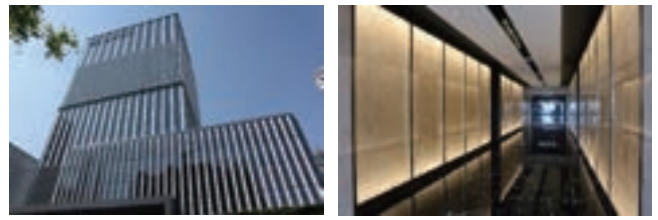


尖閣諸島問題で日中関係が悪化した2012年に四つ目の仕事に関わることになりました。日本でも良く知られた青島市某銀行のコンペティションでした。当初ショッピングセンターと高層住宅として建物外観がほぼ完成していたのですが、中国共産党の政策転換で建物全体を金融センターに置き換える指示を受けて某銀行は3棟ある内の低層のショッピングモールと住宅棟を1棟購入し銀行本店としての内装デザインコンペになった案件でした。2012年7月から作業を開始して9月にプレゼンを行い我々日建グループが勝利しました。10月にキックオフを行い順調にスタートしたのですが、日中関係が更に悪化し計画は一時中断する状況に陥りました。青島市内でもイオンモールに反日を掲げた群衆が暴徒化して外装のシャッターや窓ガラスが破壊され、日本車の焼討ちも起こりWeb会議のみで作業をしました。2013年の1月頃から沈静化し始めたことで打合せを再スタートさせました。現地での打合せも日本人と知られると担当者が非難されることから、移動中やEVかご内でも一切日本語を話さないように指示があり会議室に入ってやっと日本語を話せる状況でした。こんな緊張感のある経験は初めてでした。この騒動で一時は当選した日本チームを諦めて再コンペをする気配もありましたが、時間が無駄になることと当選案に惚れ込んでくれたので変更せずに進捗しました。中国では「風水」の思想が根底にありますので、水/Water・風/Wind・波/Waveの3つのWをコンセプトにして設計を進めました。ショッピングモールで出現した4層吹抜の銀行ロビーには4面に滝を流し1階に水の溜まる池を設け金運が貯まる提案をし、日本の技術を取入れて完成させました。中国は硬水で黄色い水が普通で大きな濾過装置を設けて透明な水になるように苦慮しました。

日本の石材は高価ですが中国では世界中の石が安価に入手できますが、石目や色に関しては要注意です。逆に木練付材は施工精度に殆ど期待できず、木目合せや塗装色合いには詳細な指示が必要です。それとブラック SUS の三方枠や扉の下地は殆どが合板加工で 0.5 mm の薄板を貼付けて完成させます。見栄えよければ全てよしとは驚きでした。日本では建築施工会社（ゼネコン）が下請業者を総合管理監督しますが、中国は別々に発注をするので全体を統括する役割がありません。完成度の高い仕事をしたいのでその役目を引受けますが大変な時間と労力が必要になります。材料決定に関しては似て非なる材料が沢山届きますが、サンプルが一番近いものを数カ月かけ承認して帰国します。中国の金物は精度も悪くデザインも無駄が多くて採用できるものが少なく悩んでしまいます。特に便所ブース金物は使い方が粗く丈夫でないと破損するので洗練されたデザインには程遠いものが大半です。



五つ目の仕事は上海に戻りまして 2017 年にスタートした上海某銀行で 45,000 m² のオフィスビルを購入してのスケルトン内装設計でした。最上階 20・21 階が吹抜の完成したビルで、このフロアに役員諸室とプライベートバンクを配置する計画となりました。董事長は日本嗜好でしたので無駄を省いて縦格子と光壁・光膜を活かしたデザインとしました。高層吹抜ロビーにはガラスのオープン階段が設置されていましたが使い勝手が悪いことから、これを撤去して新たな階段を再構築しました。高層ビルの最上階にある階段を壊すようなことは考えられませんが中国ではビル購入した施主が自由に変更してしまいます。申請後の図面と食い違っても抜け道があるのが中国です。この現場内装施工者は施工能力のある技術者がいて、お互いにスケッチを描きながら意思疎通ができました。地震国ではないので部材寸法も小さくてディテールも良く考えられて精度のある満足のいく内装が完成しました。



2020 年から始まったコロナパンデミックで 3 年間程中国の行き来は途絶えてしまいましたが、ゼロコロナ政策も緩和され始め年内には渡航できることに期待したいと思います。中国文化と向き合った 12 年間を通して、日本は削ぎ落とす「引き算文化」ですが中国は付け加える「足し算文化」であることが理解出来ました。それと男女平等で女性の力は日本と比べようがなくパワフルです。日本には無くて中国にあるものは、決断の速さと全てに勢いがあることです。人口 14 億人の中で生きていくにはスピード感がないと負けてしまいます。まずは動いてから考える姿勢です。建築現場での日本人の生真面目さは本当にピカ一です。中国では世界のデザインのあらゆるものが混在して動いています。秩序があつて無い国です。既に中国も高齢化が加速し円熟した社会が訪れていますが、未来志向の姿勢は見習うべきものと痛感した奮闘記でした。



井上 順一郎 (いのうえ じゅんいちろう・インプラスデザイン)

各種手続き 変更の際は、手続きを忘れずに

- (1) 会員種別
- 正会員 インテリアプランナー登録者
 - AIP会員 アソシエイト・インテリアプランナー資格登録者
 - 一般会員 会の目的に賛同する個人
 - 法人会員 会の目的に賛同する企業・団体
 - 学生会員 インテリアプランナー資格取得を目指す学生
 - 特別会員 当協会の発展に貢献してくれる個人又は団体
 - 名誉会員 会に対する功労者、またはインテリアプランナー制度に貢献があった個人
- (2) 変更届
- 登録事項に変更があった場合は、必ず変更届をお出しく下さい。
変更届は JIPAT のホームページよりダウンロードできます。
JIPAT のホームページ <http://www.jipat.gr.jp/>
必要事項を記入しメールか FAX で事務局までご送付ください。
- (3) その他各種問い合わせ先
- ① JIPAT 会員へのメール配信やホームページへの掲載希望は、事務局にご連絡ください。
*メール配信やホームページへの掲載は内容によってはお断りする場合があります。
 - ② 委員会への入会、サポートメンバー登録
委員会に入りたい方、サポートメンバーになりたい方は、メールにて事務局へご連絡ください。
- JIPAT 事務局 TEL : 03-3446-8860 FAX : 03-3446-1417 MAIL : office@jipat.gr.jp

会員の特典及びサービス

■会員特典

- ・会員証が交付されます。
- ・各委員会活動、各事業に参加でき、様々な人との交流が図れます。
- ・会が催す見学会等の各種イベントに会員価格にて参加できます。
- ・文芸美術保険組合に登録することができます。
- ・会誌などの無料配布を受けられます。
- ・会員名簿（HP 上）の閲覧ができます。
- ・ウェブサイト上で会員専用の情報を得ることができます。
- ・会員証の提示により法人会員登録企業からの特典が受けられます。（内容は各企業による）
- ・法人会員主催の各種特別セミナー・見学会等に参加できます。
- ・各種文具店等の割引を受けられます。

<< 文芸美術国民健康保険 >>

会社等の法人に所属していない個人でデザインの仕事をされている方は、当保険に入ることができます。

編集後記

「Interior Planner's Report 29」の発刊にあたり、みなさまに今年度も無事に刊行できましたことをご報告するとともに、発刊にご尽力いただいた方々にこの場をお借りして心から御礼申し上げます。

今年3月、厚生労働者からマスクの着用に関して原則任意という大幅な緩和が発表され、さらに5月8日から、コロナ感染症がインフルエンザと同じ5類感染症に分類され、いよいよコロナの夜明けが現実になりつつあります。昨年同様、JIPAT 通常総会は、感染対策に配慮したうえで、リアルで開催されます。本当に喜ばしい限りです。

一方、昨今の円安に端を発した原材料費高騰、物価高、人件費高騰など、企業業績の本格回復への安心材料は少なく、引き続き広告募集は見送りました。一昨年から実施している本誌の電子メール配信への切り替えは、今年もまたコストを抑えることに寄与しています。内容に関しては、この本誌のメイン企画である各委員会の活動報告からもお分りの通り、開催イベント数が徐々に増加。とくにリアルでの開催が目立っていて、活動が以前に戻りつつあることを実感しています。

さて、今回のコラムは、井上副会長に登場願って、『近くて遠い国中国』をご自身の経験を通じて、語っていただきました。日本にとって巨大マーケットである中国におけるデザインビジネスの流儀を少しでも理解していただくというのがこの企画のねらいです。文章からもにじみ出ている中国人の決断力の速さと勢いは、14億人の人口を背景とした圧倒的な競争社会にあること。また、文化の違いを否応なく実感する『近くて遠い国』をあらためて認識した読み物となりました。今後、皆様のビジネスに役立てていただければ幸いです。

編集長 佐藤 勝

編集委員 荒井 資郎・岡田 高文・下田 清二郎・東海林 吾一・露木 卓一・中澤 淳・福山 亮介

Interior Planner's Report Vol. 29

発行日 2023年5月26日

発行者 一般社団法人 東京インテリアプランナー協会
会長 佐藤 勉

編集 一般社団法人 東京インテリアプランナー協会
総務委員会

(表紙の写真)

タイトル：浦東のスリータワー

撮影者：井上 順一郎

撮影日時：2018年4月21日 22:36 撮影

撮影者のコメント：

上海浦東地区での現場作業を終了してから5名のスタッフで夕飯の中華料理を満喫した後、ホテルに帰る途中で、夜の浦東オフィス街を探索した時に撮影しました。
中国超高層ビルのナンバーズリーを真下から見上げた迫力あるアングルです。

① 上海中心：632m/128階（シャンハイセンター）/表紙左下

② 上海環球金融中心：492m/101階（シャンハイ・ワールド・ファイナンシャル・センター）/表紙中央上

③ 金茂大廊：375m/88階（ジンマオタワー）/表紙中央右